

今週のみことば

「わたしは天から下ってきた生けるパンです」  
(箴言9章1～12節)  
「さあ、わたしのパンを食べなさい。わたしが混ぜ合わせたぶどう酒を飲みなさい。」(5)  
(ヨハネの福音書6章41節～59節)  
「わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きています。そして、わたしが与えるパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」(35)

### 今日のメッセージ要旨

◎今日、聖書のみ言葉から、神様の招きのみ声を聞きたい。

◎箴言9章には神様の招きが述べられている。①知恵の呼びかけ。「浅はかな者はみな、ここに来なさい。」「わたしのパンを食べなさい。…浅はかさを捨てて生きなさい。…」(1-6)。②一方愚かな女も呼びかけている。「浅はかな者はみな、ここに来なさい」「盗んだ水は甘く、こっそり食べるパンはうまい」(13-18)。

人はみな、愚かで罪深く、浅はかなのです(ローマ3:9-18)。それを認め、神様の憐れみにすぎる者は救われ、神に義と認められるが、認めない者は違うのです。

◎ヨハネの福音書6章で、五つのパンと二匹の魚を用いて五千人に食事を与えられたイエス様の許に「群衆が押し寄せた」のです。その群衆に対してイエス様はご自分のことを「いのちのパン」だと宣言され、更に「このパンを食べるなら、永遠に生きられます」と語られたのです(51)。かつて、モーセの時代に、イスラエルの先祖がエジプト脱出後、荒野の旅において、神様は「天からのパンを与えて食べさせた」のです。しかしこのパンを食べたものは死にました。けれども、イエス・キリスト様は天から与えられた「まことのパン」なのです(33)。このパンであるイエス・キリストを食べる(信じ受け入れる)ことによって永遠の命を与えられるのです。

◎ユダヤ人にとって律法を守ることが永遠の命に至ることであったのですが、イエス・キリスト様は「神が遣わした者を信じること、それが神の業です」と語られたのです。群衆は「信じるためにしるしを求めた」のですが、これは御利益信仰、偶像礼拝に結びつくのです。イエス様を「神の子キリスト(救い主)」と信じるか否かが救いを受けるか、否かにかかっているのです。神様は「イエスをキリスト」と信じる者に「永遠の命」を与えて下さるばかりか、神様はその人を「終わりの日」によみがえらせてくださる御方なのです。

◎「だれでも乾いているならわたしの許に来て飲みなさい」とキリストは招いておられるのです。そしてご自分の肉体を裂き、血を流されたそのしるしであるパンと血にあずかることによって永遠の命を与えられるのです。いつも飢え乾きをもって主を求め、主の聖餐に与り、命に生かされた生涯を貫かせていただきましょう。そこに祝福があるのです。

◎1973年「あんばんまん」(やなせたかし)の漫画が発行され、1998年にテレビアニメで放映されて以来、子どもの人気番組の一つとなっています。この本で作者は何を訴えようとしているのでしょうか。

私たちキリスト教会では、今の時代に何が必要なのかを真剣に考え、皆さんとその解決の源がどこにあるのかを模索しております。そしていのちの源である聖書(バイブル)からその解決を見出そうとしています。

この文章は本日の伝道礼拝の招きのチラシに書いた文章の一部分です。

真の命のパンであられる御方(イエス・キリスト)の恵みに与り続けましょう。